

法学委員会・心理学・教育学委員会合同

法と心理学分科会

第9回会議議事録

- 日時 2026年4月25日(土) 15時00分～18時00分
- 方法 ウェブ会議
- 参加者(五十音順、敬称略)
大江美佐里(久留米大学、精神医学)、笠井修(中央大学、民法)、唐沢かおり(東京大学、心理学)、川嶋四郎(同志社大学、民事訴訟法)、行場次朗(東北大学名誉教授、心理学)、笹倉香奈(甲南大学、刑事訴訟法)、土井政和(九州大学名誉教授、刑事政策)、豊崎七絵(九州大学、刑事訴訟法)、仲真紀子(理化学研究所、心理学)、西希代子(慶応義塾大学、民法)
- 欠席者
金澤真理(大阪公立大学、刑法・刑事政策)、平山真理(白鷗大学)刑事訴訟法・刑事政策)、松宮孝明(立命館大学、刑法)
- 議事概要
 1. 開会、前回議事録の確認
笠井委員長より冒頭のあいさつと本日の進行内容について説明があった。
前回議事録の確認が行われ、異議なく承認された。
 2. 研究報告ならびに質疑
行場次朗氏(東北大学名誉教授)「アフエンタジアとは? ——事情聴取、証言問題——」
 3. 今後の研究の進め方について
公開シンポジウムを、日本心理学会大会(本年9月4日～6日)における他学会連携企画として、日本心理学会・法と経済学会と共催する計画につき、笠井委員長から準備状況の説明があった。

以上